

## 平成28年第4回定例会(平成28年12月20日)

総務企画消防委員会委員長 (加藤 信康 委員長)

去る12月12日の本会議において、総務企画消防委員会に付託を受けました、『議第98号 平成28年度別府市一般会計補正予算(第7号)』関係部分、ほか11件について、12月13日に委員会を開会し、慎重に審査をいたしましたので、この経過と結果についてご報告いたします。

はじめに、補正予算議案6件についてであります。

人件費関係では、『議第98号』の一般会計、及び『議第99号』から『議第103号』までの各特別会計について、当局より、人事院勧告等に準じた給料及び期末勤勉手当の引き上げによる増額、及び、災害対応に伴う職員の時間外勤務手当支給、並びに、人事異動や採用者の確定が行われ、その差額が生じることに加え、休職者や育児休業者等の減額部分などを整理した結果、各事業別の人件費に変更が生じたため補正、またこれに伴う一般会計からの繰入額の調整を行うものとの説明を受け、これを了といたしました。

また、一般会計の『政策推進課』関係部分では、歳入において、内閣府の地方創生推進交付金の2次分として認められた2事業分の交付金の受け入れ、歳出では、収支において歳入が歳出を超過したことにより、予算調整として、別府市財政調整基金へ積み立てるとの説明がなされ、これを了とし、採決の結果、『議第98号 平成28年度別府市一般会計補正予算(第7号)』関係部分から、『議第103号 平成28年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)』関係部分まで、以上6議案については、いずれも全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

続きまして、条例改正議案6件についてであります。

まず、『議第104号 別府市役所事務分掌条例の一部改正について』であります。まず、当局より、

1. 別府市総合戦略等を着実に実行
2. 現場の実情を踏まえて地域の課題を探求し、的確な政策を打ち出す「政策市役所」の実現
3. 新たな行政課題の解決に果敢に取り組む

以上3点の体制づくりを行うための機構改革であり、現行の6部制から8部制とするとの説明がなされ、採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決すべきもの決定した次第であります。

次に、『議第105号 特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について』、及び『議第106号 別府市職員の給与に関する条例及

び別府市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について』は、人事院勧告に準じ、特別職等の期末手当の引き上げ、及び、職員の給料月額・勤勉手当を引き上げるための条例改正であるとの当局説明があり、採決の結果、いずれも全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

その他、『議第107号 別府市職員の退職手当に関する条例の一部改正について』、及び、『議第108号 別府市税条例の一部改正について』、並びに、『議第111号 別府市国民健康保険税条例の一部改正について』、以上3議案についても当局説明を妥当と認め、採決の結果、いずれも全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で、当委員会に付託を受けました議案に対する審査の経過と結果の報告を終わります。

何とぞ、議員各位のご賛同をよろしくお願いいたします。